
短 報

愛媛県総合科学博物館の砂防池で確認されたオシドリ

大西 剛 *

Aix galericulata was discovered to erosion control pond of Ehime Prefectural Science Museum,
Ohjyouin, Niihama city.
OHNISHI Tsuyoshi

Abstract : This is a report that *Aix galericulata* was discovered to erosion control pond of Ehime Prefectural Science Museum, Ohjyouin, Niihama city.

キーワード : オシドリ, 新居浜市

Key words : *Aix galericulata*, Niihama city

オシドリ (*Aix galericulata*) は、鳥綱カモ目カモ科オシドリ属に分類される鳥類で、東アジア（ロシア南東部、朝鮮半島、日本、中国など）に分布する。日本では北海道や本州中部以北で繁殖し、冬季になると本州以南（主に西日本）へ南下し越冬する。オスの嘴は赤く、繁殖期のオスは後頭（冠羽）、頬から頸部にかけての羽毛が伸長し、顔の羽衣が白や淡黄色となる。胸部の羽衣は紫で、頸部側面には白い筋模様が左右に2本ずつ入る。

本種は森林に囲まれた山の湖や池、木の陰の水面を好むので、あまり他のカモ類となじまずオシドリだけの群れをつくる。愛媛県では松山市の石手川ダムや西条市の黒瀬ダムが集団越冬地として有名である。なかでも大洲市肱川町と西予市野村町にまたがる鹿野川湖は、オシドリの越冬地としては日本最大規模のダム湖として知られており、越冬個体数は1,000羽から5,000羽程度までと、年による変動が大きいものの、単一の越冬地としては日本最大規模となっている（日本野鳥の会愛媛・2020）。

筆者は、2015年より博物館周辺の生き物調査のため写真撮影等を行っているが、今回博物館の砂防池で、初めてオス単独個体の飛来を確認し撮影出来たので報告する。

なお、この後数日間撮影を試みたが、姿を確認することは出来なかったため、他所へ移動したものと考えられる。県下の他の集団越冬地と違い、小さい池である同地に繁殖期のオスが単独で飛来した理由については不明である。

参考文献

日本野鳥の会愛媛（2020）：鳥をみよう（鹿野川湖）
<https://ehime-wbsj.com/guide/14/>

* 愛媛県総合科学博物館 学芸課 自然研究グループ
Curatorial Division, Ehime Prefectural Science Museum

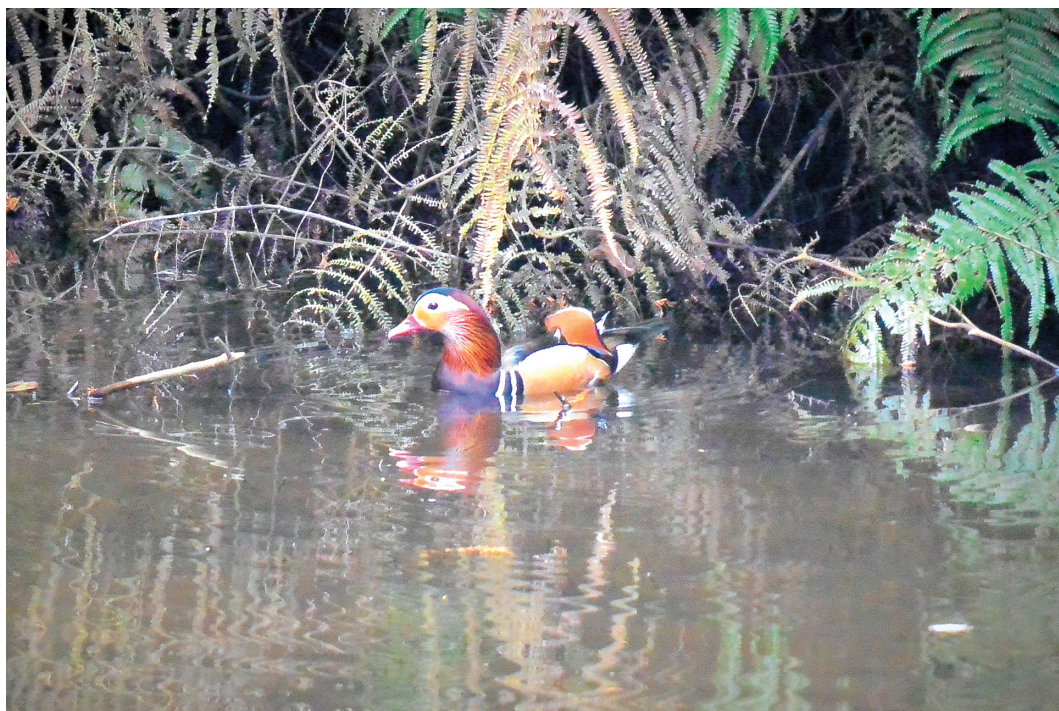


写真1 オシドリ（♂）
撮影日：2020年1月24日
撮影地：愛媛県総合科学博物館裏砂防池（新居浜市大生院）



写真2 砂防池全景